

第64回

全国保育研究大会



すべての人が子どもと子育てに

関わりをもつ社会の実現をめざして



「宇治橋鳥居」写真提供：神宮司庁

期 日 令和3年 11月 17日 (水)

実施方法 Zoom を使用したオンラインによるライブ配信

主 催 全国社会福祉協議会・全国保育協議会／全国保育士会
東海・北陸ブロック保育協議会、三重県保育協議会
(実施主体：全国保育協議会／三重県保育協議会)

後 援 厚生労働省、内閣府、三重県、三重県社会福祉協議会

保育の営みをいかに社会に発信するか 『多職種が集う公開保育・交流の取り組みと、ここからの展望』

愛知県豊橋市 社会福祉法人明照保育園 幼保連携型こども園明照保育園 主幹保育教諭 中島 美奈子
園長 中島 章 裕

設置市町村の概要（令和3年4月1日現在）

人口：373,454人

保育所数：41か所（公設公営）4か所（公設民営）0か所（民設民営）37か所

認定こども園数：23か所（公設公営）1か所（公設民営）0か所（民設民営）22か所

保育所・認定こども園等の概要（令和3年4月1日現在）

定員：285人 現員：247人 民設民営

職員数：常勤44人 非常勤18人 職員総数62人

発表概要

取り組みの目的

- ・地域と交流している園の活動を整理し、保育と社会のつながり合いはどちらにとっても必要であると感じる
- ・本当の意味で私たちの保育の営みを社会全体に発信していくためには、すべての子どもと子育てに関わる専門分野による子どもの育ち全体のイメージが持てることが重要である
- ・多職種の集う顔の見える交流の成果と課題を整理し、今後に活かしたい

取り組みの概要

- ・子どもの育ちに関わる専門性を活かしつつも、切り取られた役割の中で感じる限界や課題を抱える多職種に向けての公開保育と顔の見える交流を行う
- ・子どもや保育者の様子をその場で見て、それぞれの専門的な視点を交わし合う
- ・公開保育の実践を継続することで、子どもにかかわる関係機関がチームとなり、子どもの成長の全体像をとらえることができれば、今後の社会に向けて、保育の大切さを大きく発信できることが期待される

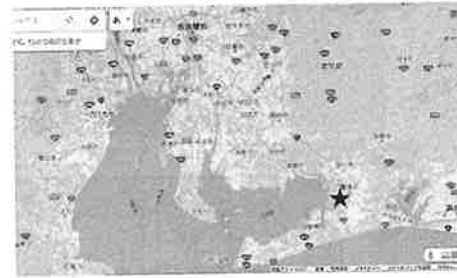
取り組みの成果

- ・5年間の多職種の集う公開保育を通して、子どもの育ちを広い視野でとらえるきっかけとなることが確認できた
- ・新型コロナウイルス感染拡大により中断を余儀なくされたが、公開保育で多職種から注目された保育の専門性や、園の保育の役割に気づく機会となった
- ・社会の中の保育の位置づけを明確にし、保護者や地域の子育て力、子育てへの意欲を支えるためにも、多職種の集う公開保育を継続する意義を捉えることができた。

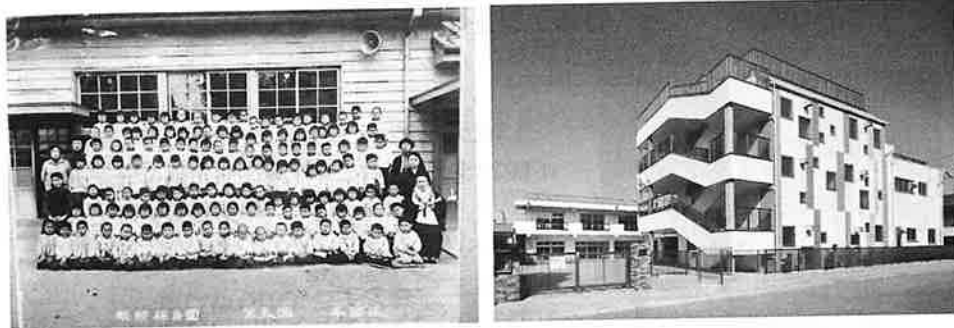
第62回東海北陸保育研究大会「愛知大会」
 【すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして】

第7分科会
 「保育の社会化にむけて ～保育の営みをいかに社会に発信するか～」
 『多職種が集う公開保育・交流の取り組みと、
 ここからの展望』

愛知県豊橋市 幼保連携型こども園 明照保育園
 園長 中島章裕 ・ 主幹保育教諭 中島美奈子



明照保育園 (愛知県豊橋市牟呂中村町6-1)



昭和28年度 社会福祉法人 明照保育園
 平成27年度 幼保連携型認定こども園 明照保育園

令和3年度 11月
 園児264名

園児	児童クラブ生
0歳児 16名	第1 40名
1歳児 41名	第2 35名
2歳児 51名	第3 36名
3歳児 54名	第4 21名
4歳児 51名	
5歳児 51名	



保育・教育目標

心身ともにたくましく、
思いやりのある子ども

- * 少子化や核家族化
- * 子どもが親以外の大人とつながる機会の減少
- * 地域社会の子どもや子育てへの関心の低下



在園の有無にかかわらず、地域の子育て支援 ≡ 保育の社会化

地域社会を
園に招き交流

- * 園庭開放&親子ひろば
園児の様子を見る・一緒に遊ぶ
- * 子ども食堂「おとなりさん」
- * 無料学習支援
「明照フリースクール」
- * 地域の子ども・大人の交流
「なかよし保育」
- * 大人の保育活動などを体験する
「おやくる」
- * フリーマーケット
- * 行事への参加
「夕涼み会」「運動会」
「あきまつり」「作品展」等

地域社会に
出かけて交流

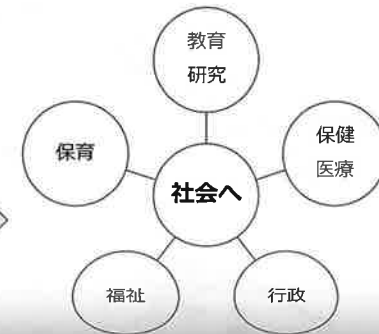
- * 高齢者施設への慰問交流
- * 地域の公園フェスティバルで
園児のうた声発表
- * 市内の魚市場へ見学交流
- * 高校にてスポーツ交流
- * 大学にて保育科学生との交流
- * 保育者による出前保育
子ども未来館「ここにこ」にて

保育と社会のつながり合いは
どちらにとっても◎

保育の営みをいかに
社会に発信するか

「社会に開かれた幼児教育」を
実現するために

それぞれの専門性
切り取られた役割の限界
抱え込んでいる課題



公開保育へのアプローチ

・自分の保育がこれで

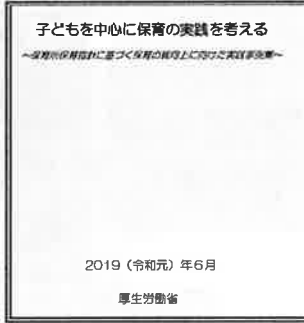
・自園の保育を見られる
ことへの負担

公開保育へのアプローチ

令和元年

厚生労働省

「質の向上に向けた実践事例集」



- ・自分の保育がこれで良いのかという迷い
- ・他の先生の保育を見たいという向上心の声 など

- ・自園の保育を見られることへの負担
- ・子どもに無理をさせたりしないかという迷い
- ・保育者等の多忙化など

抱えている課題に取り組む過程を表す公開保育の実践

園内公開保育（〇〇組デー） ～視野を広め、保育を振り返る～

- * 日常の1日を気軽に見合う機会を重ねる
- * 正規、短時間の保育者・職員
 - 延長保育担当、体育指導、調理員、学童指導員、看護師
- * その場にいるからこそ気づけること
 - 子どもの様子、保育者の生の声やかかわり方、保育をすすめるタイミング など
- * 感想や学びの交流
 - 職員会議だけでなく、参加者は付箋に書いて全員で見合う



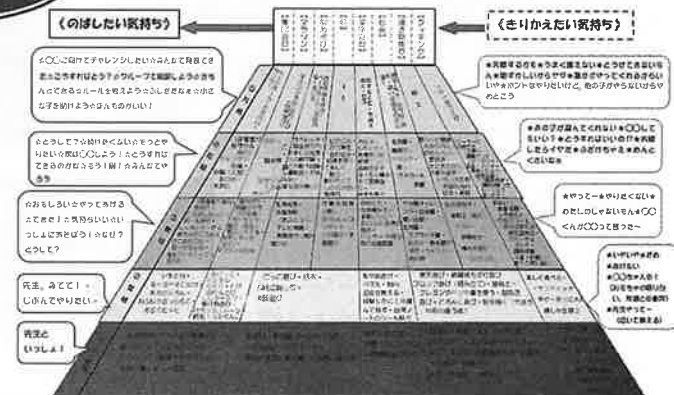
多職種の集う公開保育

	保育のテーマ	ワークショップテーマ	参加者
H27.8	「つながりを大切にする保育」	「公開保育に参加して」	33名
H28.8	「保育を高める食育活動」	〃	68名
H29.8	「保育に見る非認知的な心の力」	「〇〇君について語り合おう」	37名
H30.8	「幼児期の終わりまでに育つことが望ましい10の姿の基盤にあるもの」	「子どもにとっての理想の未来社会を考えよう」	63名
R 1.8	「社会に開かれた乳幼児教育」	「みんなで違いを体験しよう」	66名
R 2.8	コロナ禍により中止		

平成27年度

発達を促せるもの(活動)のつながり

「0～5歳児までの活動の連続性について8つを例にあげ、保育者間で分析する」



つながり(つながり)

平成28年度

食育を通した心と体の成長

保育を高める食育活動



とうもろこしの皮は
バナナみたいにむけるんだよ～
やってみよう!

調理員と保育者による
顔の見える交流がもたらすもの

平成29年度

～幼児教育を土台とした、小学校への接続まで～

非認知的な心の力 (非認知能力)

- 『自己と社会性の発達』～心構・態度・態度～
- 自己と社会性の発達
 - 自己の感情を適切に表現する
 - 自己の感情を適切にコントロールする
 - 自己の感情を適切に表現する
 - 自己の感情を適切にコントロールする
 - 社会性・態度・態度
 - 社会性・態度・態度
 - 社会性・態度・態度
 - 社会性・態度・態度
 - 社会性・態度・態度

「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」



【学校教育で育成すべき資質・能力】

- ①基礎及び基盤の習得
- ②思考力、判断力、表現力等の育成
- ③学びに向かう力、人間性等の涵養

保育に見る
非認知的な心の力

平成30年度

乳幼児期に育つことが望ましい 10の姿の基盤にあるもの



令和元年度



社会に開かれた乳幼児教育について考える



保育ドキュメンテーション交流

様々な活動の様子や感想が掲載されたドキュメンテーション交流のポスター。中央には「みんなで♪」とあり、周囲には「ほくが！わたくしが！」「がんばって！がんばって！」「み～つけた！」「ともだちのいいところ☆」などの見出しがあり、それぞれに写真と短い文章が添えられている。

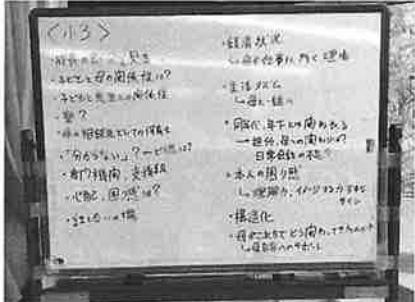
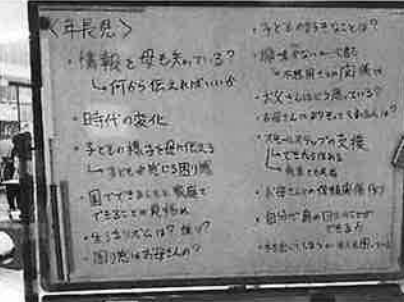
保育ドキュメンテーション交流



ワークショップ

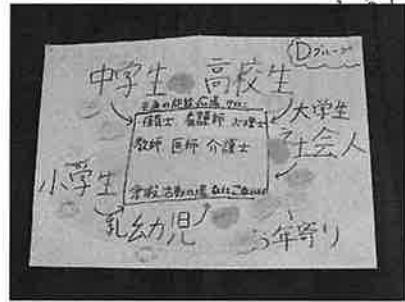


「100君について語り合おう」



ワークショップ

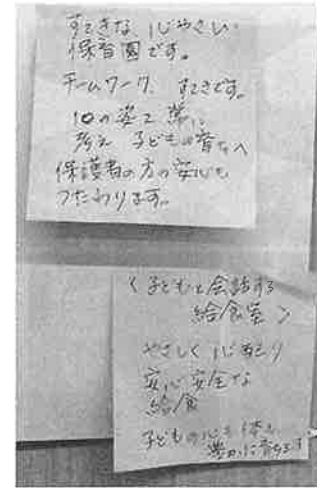
「子どもにとっての理想の未来社会を」



ワークショップ



「みんなで
違いを体験しよ
う」



感想を付箋に書いて掲示

多職種の集う公開保育 → 保育の発信

【課題】

それぞれの職種により
参加しやすい時期の調整

毎年夏に実践することによ
る公開保育内容の限定

【成果】

子どもの育ちを広い視野
でとらえる機会

多職種とつながり合う
ことによる園の保育の
役割の確認



コロナ禍の保育・公開保育の中断

【公開保育を経て、コロナ禍に園の保育を見つめる】

毎日顔を合わせる信頼関係による保育の積み重ね

子育て家庭を孤独にせず、子ども・保護者に日々寄り添うこと

子育て家庭がいつでも気軽に立ち寄れる場

保育の専門性を備え、多職種や地域とのつながり合う「現代の共同養育の場」



子どもが毎日を楽しみ、育っていく過程に関わることは、
親や家族、地域、私たち専門職、
すべての大人にとっての喜びや生きがいとなり得る

子育ての幸せ→社会に発信し続ける



保育を家庭へ配信

オンラインシステム等の活用（保育・家庭・公開保育）



愛知県豊橋市
小学校における放課後の安心な居場所
で、新たな学びの場をスタート

地域の様々な専門家、
アスリート、
シルバー人材センター会員、
教員OBが子どもたちを支える

★すべての子どもの成長のストーリー
に関わる多職種による連携の機会
→地域の子育て力を高める

のびるんdeスクール
放課後の時間を活用し学力・体力の向上を目指す新たな学びの場



人間の育ちの原点
「乳幼児保育」を社会に向けて

- ★保育の専門性を磨く
- ★社会の中の保育の位置づけ
- ★保護者・地域の子育て力の向上



多職種の集う顔の見える交流